

一般財団法人 日本文具財団

令和8年度助成金交付

(1) 科学技術研究開発助成

- ① 感熱性カプセルペーパーを活用した「触れるマイクロな世界展」開催事業  
推薦者：特定非営利活動法人 六星 代表理事 古橋 友則  
申込者：浜松科学館 館長 小田木 基行  
助成額：300 千円
- ② 文具小売業に関する紙媒体（会報誌）情報のデジタルデータ化及び全文連ホームページ検索機能強化  
推薦者：一般社団法人 全日本文具事務用品団体総連合 会長 宮城 邦弘  
申請者：一般社団法人 全日本文具事務用品団体総連合 会長 宮城 邦弘  
助成額：300 千円

(2) 青少年創造性開発助成

- ① 環境都市工学まるごとフェスター土木を学び創造性を育む体験型公開講座ー  
推薦者：御坊市教育委員会 教育長 弓倉 正啓  
申請者：和歌山工業高等専門学校 技術支援室 技術専門職員 森本 喬太  
助成額：100 千円
- ② 学童保育向け出前授業「理工系実験体験教室」の開発  
推薦者：御坊市教育委員会 教育長 弓倉 正啓  
申請者：和歌山工業高等専門学校 校長 井上 示恩  
助成額：250 千円
- ③ 「文具を科学する：システム/デザイン思考で未来の道具を創るワークショップ」  
推薦者：九州工業大学 理事 高大接続センター センター長 安永 卓生  
申請者：九州工業大学 高大接続センター アドミッションオフィス  
講師 寺田 登与徳  
助成額：150 千円
- ④ 少年少女発明クラブ地元高校生と連携する「プログラミング的思考」教室  
推薦者：公益社団法人 発明協会 副会長 近藤 正春  
申請者：二戸市少年少女発明クラブ 会長 浪岡 清高  
助成額：100 千円

- ⑤ 「板ゴマ」を「回転機構付ストロボ機器」でストロボ効果の体験や電子工作とプログラミング体験を通して、学ぶ楽しさや創造性を育む

推薦者：公益社団法人 発明協会 副会長 近藤 正春

申請者：川崎北部少年少女発明クラブ 会長 上森 規光

助成額：100 千円

- ⑥ 東海秋まつり2026「産業まつり」

推薦者：公益社団法人 発明協会 副会長 近藤 正春

申請者：東海市少年少女発明クラブ 会長 佐藤 雅之

助成額：50 千円

- ⑦ 小中学生の創造性育成を目的とした発明クラブ活動の充実

推薦者：公益社団法人 発明協会 副会長 近藤 正春

申請者：福山少年少女発明クラブ 会長 早川 雅則

助成額：250 千円

- (3) 学会、研究会助成

対象なし

- (4) 国際交流助成

- ① ストレイト・トーク（海峡対談）

推薦者：米ケント州立大学 平和構築紛争解決学部 准教授 新井 立志

申請者：East Asia Peace Dialogue 代表 WANG Shan

助成額：200 千円

以上 10 件 助成額合計 1,800 千円 （今年度予算総額 1,800 千円）